

2019 年度第 3 回磁気共鳴専門技術者認定機構理事会議事録

期 日：2020 年 3 月 16 日（月）～ 18 日（水） メール審議

出席者：青木茂樹、内田幸司、江田哲男、大野誠一郎、小倉明夫、笠井治昌、菊地克彦、
小林靖宏、後藤政実、熊代正行、高橋光幸、寺田理希、土井 司、沼野智一、
山崎 良、吉丸大輔

議事

1. 第 5 回・第 10 回認定試験合格者の更新審査結果報告

更新対象者 第 5 回 68 人 第 10 回 60 人

	更新合格	上級更新	更新延長	申請なし	合計	更新率
第 5 回	46	10	3	9	68	82.4%
第 10 回	52	6	1	1	60	96.7%

3 月 1 日に安全講習受講予定者（7 人）→ e-learning に変更して受講していただいた
予定）理事会承認後アップロードし更新料の請求をする（締切：3 月末）

2. 第 15 回磁気共鳴専門技術者認定試験中止後の対策

(1) 受験者への広報（延期とするか中止とするか）

広報文案）第 15 回磁気共鳴専門技術者認定試験の実施について、5 月末を目処に延期
もしくは中止の判断をします。延期の場合は 11 月を予定しています。

機構側の判断基準）東京オリンピックの開催と各種団体の秋季学術大会

(2) 延期とした場合

1) 開催時期と開催を決定するタイミング

開催決定タイミング：5 月末

開催時期：11 月（東京都立大学（旧首都大学）を借りられる期日で決定する）

2) 会場の確保

東京都立大学の 11 月の予約状況を確認していただく

3) 受験料の取扱い

一旦受験者全員に返金する。

理由）法人として事業決算を明確に（会計年度で決算）するため

4) 試験の申込方法

試験日の通知のみを行う。

再募集は第 15 回認定試験受験申込者に限る。

改めて受験料を支払った方に第 15 回認定試験（延期分）の受験資格を与える。

現在の受付番号のまま実施する。

受験希望は任意とする。

- 5) 受験者への配慮
 - 次回試験への繰り越し希望は聞かない（受験料を返却するため）
 - 更新期日は同じにして期間が短縮した分、更新ポイントを 90 点／5 年とする。
- 6) 試験の開催方法
 - 東京都立大学にて、3 月 1 日に準備した開催要項で実施する。
- 7) 予算計上
 - 2021 年度は 2 回の認定試験を実施することで予算を組む。

(3) 中止とした場合・中止となってしまった場合

- 1) 取扱い 第 15 回磁気共鳴専門技術者認定試験は中止扱いにする（欠番）
- 2) 開催期日 新たに第 16 回の開催を 2021 年 3 月上旬に準備する。
- 3) 開催地 関西（神戸大学病院の予定） 偶数回は関西開催を継続するため
- 4) 第 15 回認定試験受験者の取扱い 特に特別扱いはしない。
- 5) 試験日の案内期日 8 月上旬
- 6) 受験料などの取扱い 新たに第 16 回認定試験として管理システムを稼働させる。
- 7) 更新のための安全管理講習会はどこかで開催してもいいかもしれない。

(4) 想定外経費への対応（講演収録やライブ配信）

- 1) 即時対応事案の経費（予算項目にないと執行できない）
 - 対応 新たに予算項目を作る（実施不履行となる項目は作らない）
 - 予定の 120%の予算を組んでおく。

3. 認定試験の案内要項などの変更について

(1) 申請時の構成団体への在籍期間について

延べ期間で 2 年を超えていれば認める。

(2) 認定者が資格を有している間にすべての構成団体の在籍を失った場合

認定書の有効期間は専門技術者として認める。

更新時に所属学会について申請に変更がないかを確認していただく。

「各学会の所属者名簿とのすり合わせを行います」の注意を掲載する。

(3) 認定試験申請資格の詳細の追記

JART の基礎技術講習「MRI 検査」は、講習会の「修了証」ではなく「認定証」を授与されている方とする。

旧 MRI 検査技能検定はなくなったので削除する。

(4) 身代わり受験の可能性について

申請時の写真を身代わり者にしておくと受験票のみの確認では見破れない。

合格率が低いので実質的に身代わり受験は難しい。

認定者が身代わり者になると試験実行委員と顔見知りの場合が多い。

「受付時に自動車免許証などで本人確認をする場合があります」の注意を掲載する。

4. 2020 年度学術調査研究班の募集について

(1) 現状の研究班活動の進捗状況

高津班（1 年目）、高島班（1 年目）が活動中

(2) 次年度の研究班の募集について

募集時期 2020 年 4 月以降に募集し 2021 年度から 2 年間の活動期間とする。
2021 年度の予算に計上する。

5. 新医療への磁気共鳴専門技術者の掲載について

(1) 認定者全員への掲載の可否に関する問合せについて

マイページに自己申告欄を設け認定者自身に確認していただいた。

(2) 回答状況

今年の掲載希望返信者 832 人 昨年「可」とし未確認者 59 人

今月中に最終決定をする（昨年の掲載者 856 人）。

6. 会員管理システムの運用の改善点と活用について

1) 特に問題なく稼働している

今回の突然の中止をメールで全員に通知できたことは大きな成果である。

2) 認定研究会のシステムを是非とも構築したい（仕様書にあり）

3) 作成費の請求が 3 月末にある予定

作成費 150 万円 維持費 300 円×約 1000 人 合計：約 180 万円

7. 第 13 回 MRI 医療安全セミナーの開催について

2021 年 12 月に東京都立大学にて開催する方向で準備する。

8. 規約改正について

(1) 旅費規程 第 4 条 (2) を追加 (2) → (3) に移動

旅費計算起点について JR 駅よりも私鉄の駅が近い場合はその駅を基点とする。

10. 磁気共鳴医学会大会中に認定機構の MRI 安全セミナーの開催について

1) 医学会大会期間外に同会場で開催することはしない。

2) 医学会大会のシンポジウムなどのイベントを安全講習会と認定していただく。

修了証（受講証明書）の発行が必要になる。

診療報酬に係る MRI 安全講習としても活用することができる。

11. JRC2020web 開催への参加ポイントについて

1) 通常の大会参加と同じポイントとする。

12. その他

(1) 2019 年度総会と 2020 年度第 1 回理事会の開催について

6 月の土曜日もしくは日曜日に予定する（事前に理事に都合をきく）。

(2) 2020 年診療報酬の改定に関して

1) 画像管理加算 2、3 に MRI の安全管理体制の構築が加わった。

画像管理加算 2 を算定している施設は全国に約 450 施設ある。

4 月に施設認定を出す予定にしている。その後は自己管理をしていただく。

委員に磁気共鳴専門技術者を含むのが望ましいの文言がある。

2) 全身 MRI (DWIBS) 加算について

画質管理として気共鳴専門技術者の項目が入るかもしれない。

そうなると受験者が増える可能性がある。

以上